

「大学入試への女子枠導入」を経験して
Experiencing the Introduction of the New Admission Methods,
“Female Student Quotas”

東工大物質、(株) elleThermo, Ltd. °松下祥子

Tokyo Tech., elleThermo, Ltd. °Sachiko Matsushita

E-mail: matsushita.s.ab@m.titech.ac.jp

近年政府は、理工系人材におけるダイバーシティ&インクルージョンを実現するための一歩として、女性のみが出願可能な女子枠導入を促している。発表者が所属する東京工業大学は、2022年に女子枠導入を発表した。そして2024年4月入試にて、本学を構成する6学院のうち4学院(物質理工学院、情報理工学院、生命理工学院、環境・社会理工学院)で女子枠選抜を実施した。

本学におけるこの最初の女子枠入試では、志願倍率は1.9~6.9倍となった。計58人枠に56人が合格し、入学が確認された。一般選抜も含めた女性の「入学手続き者」は前年より55人増の計164人となり、入学者の女性比率は昨年春の10.7%から15.3%に上昇した。

2024年6月現在、成功といえる本学の女子枠導入だが、導入発表当時は(一部今も)否定的な声があった。「え、そんなことするの!？」という現場の声が吹き荒れた2022年ころから現在に至るまで、女子枠導入に否定的であった発表者が、高校生・保護者との対話、在学生の気持ち、キャンパスの変化などを経て、女子枠導入賛成に転じていった経緯を一例として報告する。